

豊橋ハート センター 鈴木院長の風船治療

海外学会へ初の生中継

国内の循環器科学界でトップクラスの実績を誇る豊橋ハートセンターの鈴木孝彦院長(同市大山町)は九日、ローマ、ミ



鈴木孝彦院長

国内の循環器科学界で、ラノ市内で開かれる学会に、通称・風船治療の手術現場を生中継する。世界各地から集まった約二千人の専門医らに治療法など公開する。国内から海外学会へ手術ライブが行われるのは初めてで、注目を集めている。

ヨーロッパ学会で権威あるローマの循環器科専門医学会からの要請を受

けて実施する。現地では六日から九日までの四日間、「JIM2002」が開かれ、国際会議場を主に現地病院などでセミナー、シンポジウムなどが行われる。

鈴木院長は八年前、国内でのライブデモ学会「CCIC」を立ち上げ、自身の病院や日本の国際会議場などで、海外病院

との双方向中継を定着。毎年、世界から専門医が集い技術向上に実績を挙げているが、海外への生中継は初めて。

鈴木院長のほか、滋賀県立成人病センター長・玉井秀男氏、京都桂病院循環器科部長・加藤修氏の二氏も参加。狭心症、心筋こうそく患者数多くの手術を、光回線や衛星放

送で現地へ中継する。

鈴木院長は「世界的な権威であるイタリアのロンボ博士の依頼でもあり快諾した。今回から同学会の運営メンバーにも加えられたので、これから現地へのライブデモも活発となるでしょう」と話している。

(星野のりこ)